

第24回 The 24th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association

日本神経精神医学会 学術集会

プログラム・抄録集

神経心理学と神経病理学の
新たなコラボレーションをめざして

会期 2019年10月25日金・26日土

会場 山形テルサ

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3

会長 川勝 忍

福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

副会長 鈴木 匡子

東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学

第24回 The 24th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association

日本神経精神医学会 学術集会

プログラム・抄録集

神経心理学と神経病理学の
新たなコラボレーションをめざして

会期 2019年10月25日(金)・26日(土)

会場 山形テルサ
〒990-0828 山形県山形市双葉町 1-2-3

会長 川勝 忍
福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

副会長 鈴木 匡子
東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学

第24回 日本神経精神医学会学術集会

●事務局

公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター
精神医学講座
〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21番地2
TEL: 0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

●学会運営事務局

株式会社大風印刷 学会サポートサービス
〒990-2338 山形市蔵王松ヶ丘1-2-6
TEL: 023-689-1111 FAX: 023-689-1114
E-mail: jna24@okaze.jp

日本神経精神医学会 歴代会長〈開催地〉

第 1 回(1996年)	小阪 憲司(横浜市立大学医学部精神医学教室)	横浜
第 2 回(1997年)	佐藤 甫夫(千葉大学医学部精神医学教室)	千葉
第 3 回(1998年)	武田 雅俊(大阪大学医学部精神医学教室)	大阪
第 4 回(1999年)	浅井 昌弘(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)	東京
第 5 回(2000年)	三好 功峰(兵庫県立高齢者脳機能研究センター) —第3回国際神経精神医学会合同開催—	京都
第 6 回(2001年)	三山 吉夫(宮崎医科大学精神医学教室)	宮崎
第 7 回(2002年)	遠藤 俊吉(日本医科大学精神医学教室)	東京
第 8 回(2003年)	田邊 敬貴(愛媛大学医学部神経精神医学教室)	愛媛
第 9 回(2004年)	前田 潔(神戸大学大学院医学系研究科精神神経科学)	神戸
第10回(2005年)	加藤 進昌(東京大学大学院医学系研究科臨床精神神経科学)	東京
第11回(2006年)	守田 嘉男(兵庫医科大学精神科神経科学教室)	神戸
第12回(2007年)	岩田 誠(東京女子医科大学神経内科)	東京
第13回(2008年)	地引 逸亀(金沢医科大学精神神経科学)	金沢
第14回(2009年)	森 悦朗(東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学)	仙台
第15回(2010年)	新井 平伊(順天堂大学医学部精神医学教室)	東京
第16回(2011年)	大東 祥孝(京都大学・名誉教授／周行会湖南病院・顧問) 村井 俊哉(京都大学大学院医学系研究科精神医学)	京都
第17回(2012年)	河村 満(昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門)	東京
第18回(2013年)	米田 博(大阪医科大学総合医学講座神経精神医学教室)	大阪
第19回(2014年)	朝田 隆(筑波大学臨床医学系精神医学)	茨城
第20回(2015年)	山田 正仁(金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(神経内科学))	石川
第21回(2016年)	池田 学(大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室／熊本大学)	熊本
第22回(2017年)	一宮 洋介(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)	東京
第23回(2018年)	堀口 淳(島根大学医学部免疫精神神経学共同研究講座)	島根

日本神経精神医学会 事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F

TEL: 03-5206-7431 FAX: 03-5206-7757

第24回日本神経精神医学会学術集会

ご 挨 拶

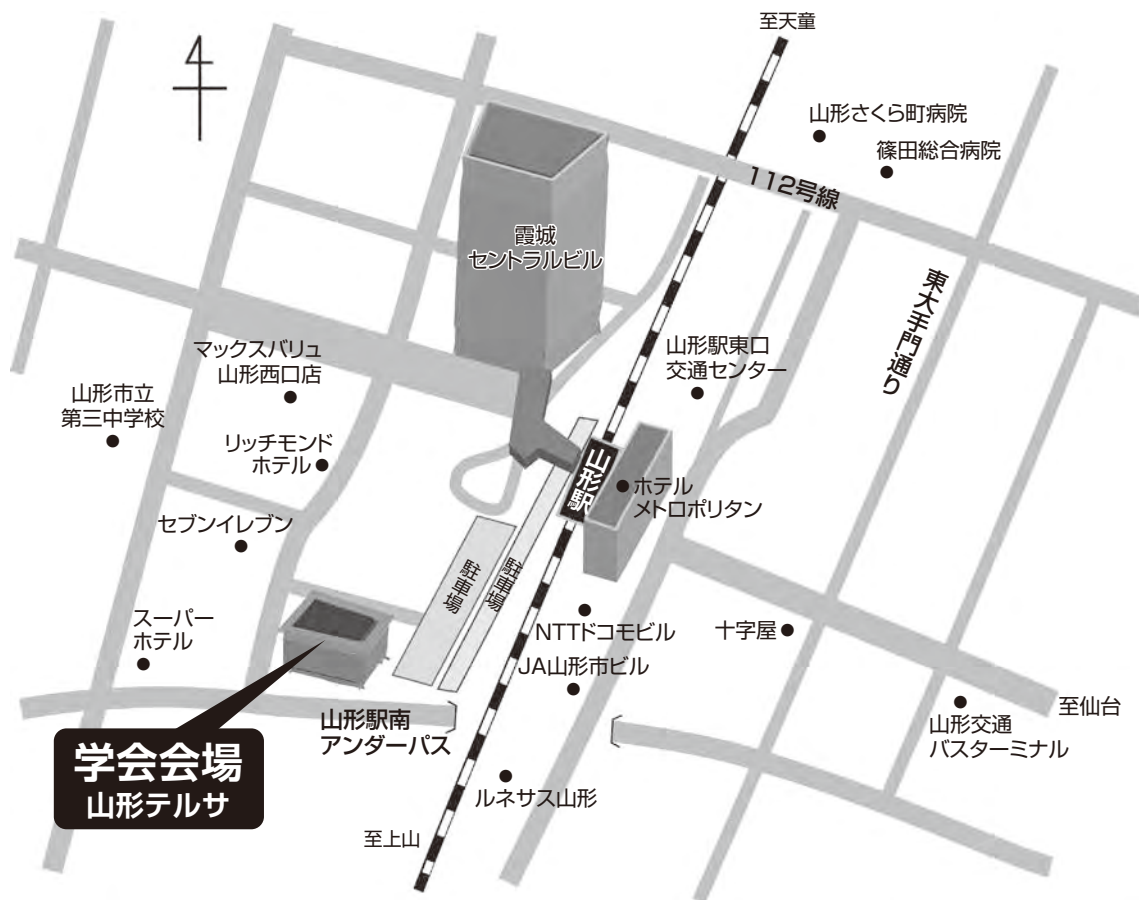
第24回 日本神経精神医学会学術集会

会 長 川勝 忍 福島県立医科大学 会津医療センター
精神医学講座 教授

第24回日本神経精神医学会を2019年10月25日(金)から26日(土)までの2日間、山形市の山形テルサにおいて開催致します。

本学会は認知症を含む脳器質性精神障害を主な対象にしており、特徴の一つは、神経内科医と精神科医が直接議論できることです。今回のテーマは「神経心理学と神経病理学の新たなコラボレーションをめざして」と題して、普段、会長と副会長で行っている原発性進行性失語などを含む認知症関連症例の検討会を通じて感じている個々の症例について神経心理学、神経画像、神経病理を丹念にかつ一貫してみることの重要性を皆様と共有したいという気持ちを込めたものです。どこまで深く症例の症候を捉えられるか、診断が難しい症例をいかに診断し、治療していくかを議論することは、臨床医学の基本です。その意味で、一般演題では興味ある演題を多数ご応募頂きました。また、特別講演、シンポジウム、共催セミナーでは、各テーマに関して、今、講演を聴いてみたい各分野の第一人者をお招きしました。皆様のご参加を心からお待ちするとともに、いつもの自由活発な議論をよろしくお願い申し上げます。

交通案内



会場 山形テルサへのアクセス

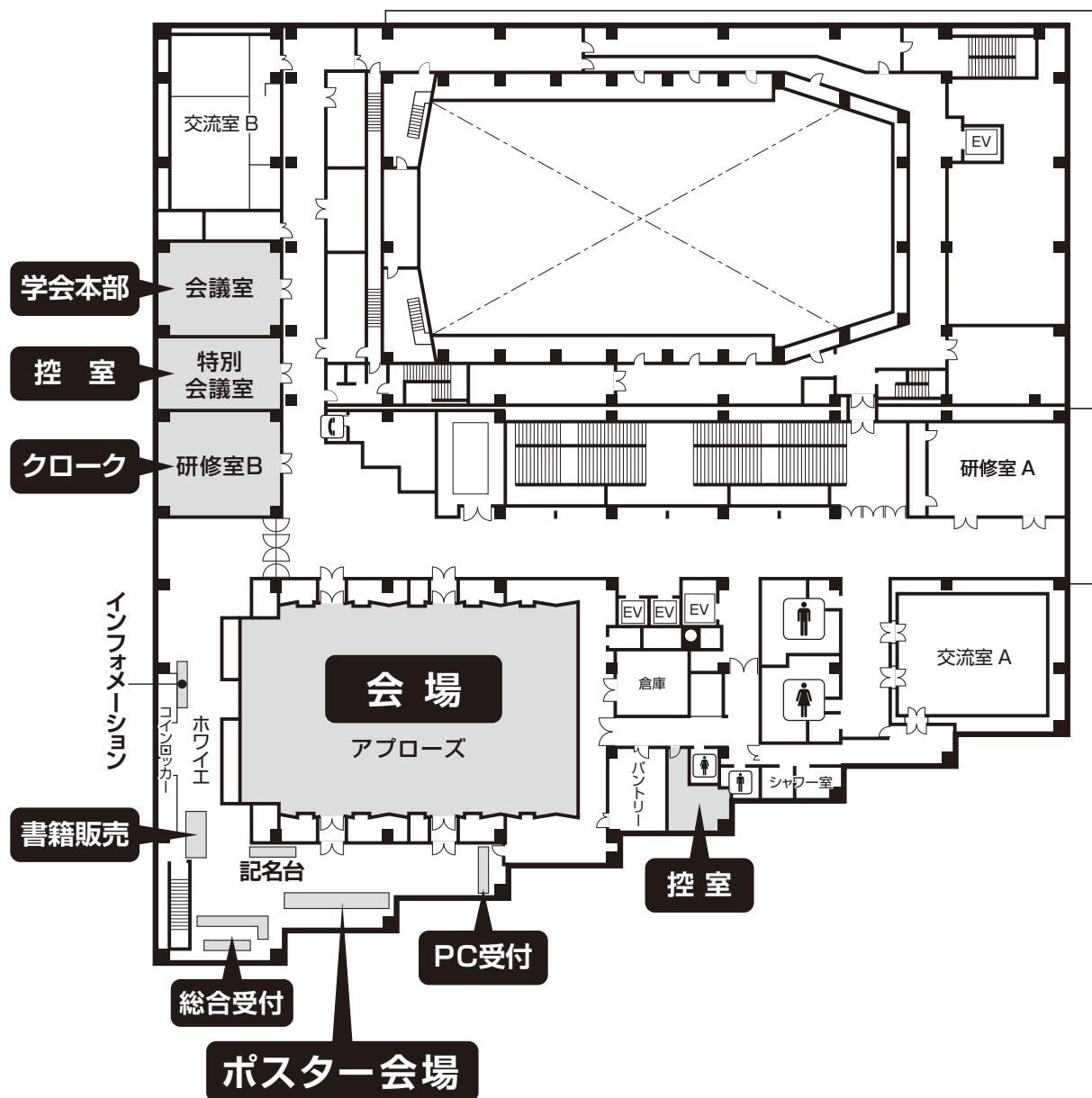
- **鉄 道** …… JR山形駅西口より徒歩3分
- **飛行機** …… 山形空港より連絡バスにて約35分でJR山形駅に到着
仙台空港より連絡バスにて約80分でJR山形駅に到着
- **自動車** …… 山形自動車道山形蔵王ICから山形駅方面へ、約15分
※周辺に有料駐車場がありますが、駐車台数には限りがございます。

会場は3階と2階です。建物内中央付近にあるエレベーター、もしくは入り口正面の階段をご利用ください。

会場案内図

山形テルサ

3F



学会参加者へのご案内

1. 参加受付

1) 場 所 山形テルサ 3階 ホワイエ

2) 受付時間 2019年10月25日(金) 8:30～18:00
2019年10月26日(土) 8:30～11:15

3) 参加登録 会員および当日会員 5,000円(抄録集含む)
非 会 員 5,000円(抄録集含まない)
初 期 研 修 医 2,000円(抄録集含まない)
学 生 1,000円(抄録集含まない)

- 今大会では事前登録は行いません。
- 参加受付の際、参加登録票に必要事項をご記入の上、参加費と共に受付へご提出ください。
- お支払いは現金のみです。おつりが要らないようにご準備をお願い致します。クレジットカードはご利用できません。
- 学生の方は、学生証、研修医の方は、初期研修医であることがわかる証明書をご提示ください。
- 参加登録票は学会ホームページからダウンロードできますので、事前に印刷してご持参いただけます。

4) ネームカード

- 受付にて参加費をお支払いの上、ネームカード(参加証明書と領収書を含む)をお受け取りください。
- 会場内では必ずネームカードをご着用ください。

5) プログラム・抄録集の販売

- 受付にて一冊1,000円でご購入いただけます。数に限りがありますのでご了承ください。
- 会員の方には事前にプログラム・抄録集をお送りしております。
- 当日、会員として入会手続きをしていただいた方には無料でお渡しいたします。

2. 本部入会受付

1) 場 所 山形テルサ 3階 ホワイエ

2) 受付時間 参加受付の時間と同じです。

3) 新 入 会

- 一般口演、ポスター発表の筆頭発表者の方には、事前に入会をお願いしております。
- 本学会への新入会を希望される方は、受付にて手続きをお願いします。
- 年会費は5,000円ですが、当日年会費のお支払いは不要です。

(1) 発表者で入会未手続きの方

- 入会申込書をお渡ししますので、必要事項を記載いただき、ご提出をお願いいたします。
- 当日の年会費のお支払いは不要です。
- 大会事務局で取りまとめ、学会事務局へ送付致します。
- 学会事務局より後日、振込用紙が送付されますので直接お振込みをお願いいたします。

(2) 当日参加でご入会の方

入会申込書をお渡ししますので、個々に学会本部へお送りいただき手続きをお願いいたします。

4) 非会員の方

本学会の会員でない方もご参加いただけます。

5) 登録情報変更手続き

- 会員の方で登録情報(住所・所属等)に変更がある場合はお申し出ください。
- 変更手続き用紙をお渡しいたしますので、直接、学会事務局へお送りいただき手続きをお願いいたします。

3. クローク

山形テルサ 3階 研修室 B 付近にクロークを設けておりますのでご利用ください。

開設時間 2019年10月25日(金) 8:30～18:50

2019年10月26日(土) 8:30～14:00

4. 会場内のご案内及びお願い

- 発表中の写真撮影、ビデオ撮影、録音は固くお断りいたします。
- 会場内での携帯電話はマナーモードまたは電源をお切りになり、呼び出し音が鳴らないようご協力をお願いいたします。
- 原則として、会場内の呼び出しはいたしません。
- 会場内は禁煙となっております。ご協力をお願いいたします。
- 会場内にはインターネット(無線 LAN など)のサービスはございません。

5. 理事会・評議員会・総会

1) 理事会

日 時 10月24日(木) 19:00～19:40(学会前日)

会 場 山形テルサ 3階 特別会議室

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3(JR 山形駅西側)

TEL: 023-646-6677

◆理事の先生へ学会奨励賞のご投票のお願い

- 学会奨励賞のご投票をお願いいたします。
- 座長、演者の理事の先生は、「座長・演者受付」で参加受付後、投票用紙をお渡しします。
- それ以外の理事の先生には、「総合受付／理事受付」で、参加受付後、投票用紙をお渡しします。
- 一般口演・ポスター発表より、優れた演題につきチェックをしていただき、総合受付に投票用紙をご提出ください。

2) 評議員会・総会

日 時 10月25日(金) 12:15～12:35

会 場 山形テルサ 3階 アプローズ(学会会場)

6. セミナーのご案内

- 10月25日(金) ランチョンセミナー、イブニングセミナー
- 10月26日(土) モーニングセミナー、ランチョンセミナー
- モーニングセミナーは軽食、ランチョンセミナーは昼食、イブニングセミナーはドリンクをご用意しております(無料)。
多数の方のご参加をお待ちしております。

発表者・座長の方へのご案内

1. 発表者の方へ

1) 学会入会のお願い

一般口演の筆頭発表者の方は、学会への入会をお願いいたします。

2) 利益相反 COI に関する提示のお願い

第24回日本神経精神医学会学術集会では、公益財団法人日本精神神経学会専門医制度委員会生涯教育委員会の単位認定を受けております。

すべての発表者の方におかれましては、ご発表時に必ず規定のCOIに関するスライド(またはポスター)の提示が必要です。必ず下記〈COI提示について〉を参照していただき、COIのご提示をお願いします。発表時に口頭での説明は不要です。

〈COI提示について〉

◆COI提示根拠

「日本専門医機構による認定に伴い、COI (conflict of interest) に関して、学術集会等開催時の申告及び演題発表時の開示が必要となりました。発表内容に関連して開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織等の有無につき、当日の発表スライドに必ず明示してください。」(公益社団法人日本精神神経学会単位機材貸し出し依頼の注意事項より抜粋)

◆指定演題または一般演題(口演)発表者の方

該当基準は、日本精神神経学会 HP 掲載の「COI 該当基準」*をご覧ください。

1. 該当なし：タイトルスライドに、COI 該当なしを枠付きで明記してください。
2. 該当あり：スライドの1枚目に、学会指定のCOIスライドを提示してください。

◆一般演題(ポスター)発表者の方

該当基準は、日本精神神経学会 HP 掲載の「COI 該当基準」*をご覧ください。

1. 該当なし：ポスター最下段に「演者 COI 該当なし」を枠付きで記載してください。
2. 該当あり：ポスター最下段に該当項目を枠付きで記載してください。
表形式でも文章でも結構です。

※「COIの該当基準」 日本精神神経学会のHP(下記リンク先)をご参照ください。

https://www.jspn.or.jp/modules/about/index.php?content_id=22

3) 発表と進行についてのご案内

◆シンポジウム・一般口演、発表者の方へ

(1) 発表方法

- ・原則としてパソコンでの発表のみといたします。
- ・スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間には十分ご注意ください。
- ・次演者の方は、発表の10分前までに、次演者席にご着席し待機してください。

(2) 発表機材の環境と動作確認

- ・画面の解像度は XGA (1024 × 768 ピクセル) です。
- ・会場で用意している PC は Windows10、PowerPoint のバージョンは2016です。

- 発表データは、受付可能なメディアの USB フラッシュメモリー (Windows 限定*) にてお持ちください。
- 特殊なフォントや動画を使用した発表、上記以外の環境を使用しての発表の場合は、ご自身のパソコンの持ち込みをお願いいたします。
- レーザーポインターは舞台上に用意してありますので、ご利用ください。

(3) Mackintosh で発表の方

- Mackintosh で発表の方は、ご自身のパソコンをお持ち込みください。また、プロジェクター接続用のアダプターと電源ケーブルも必ずお持ちください。

(4) ご自身のパソコンを持ち込まれる場合の注意事項

- 外部映像出力端子は、ミニ D-sub15 ピンとなります。
- 立ち上げの際にパスワードが必要となるスクリーンセイバー、省電力設定は、あらかじめ解除をお願いします。
- AC 電源アダプターも必ずご用意をお願いいたします。
- 万一、パソコンが不調な場合に備えてデータのバックアップのご用意 (USB メモリー*) もお願いします。
- iPad 等のタブレット端末は使用できません。

(5) 発表データ受付・試写及び注意事項

- 発表者は、ご自身の発表時間の30分前までに3F ホワイエの PC 受付までお越しいただき、試写および登録をお済ませください (なお、学会1日目の「一般演題1」の演者の方は発表の20分前までに PC 受付を済ませてください)。
- 発表データのファイル名には演題番号、演題名および発表者のお名前をお入れください。
- メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。

(6) 発表データ受付時間帯

10月25日(金) 8:30～18:30

10月26日(土) 8:30～12:00

(7) 発表持ち時間、進行及び画面送り等について

◆ シンポジウムの発表の方へ

- 一演題あたりの持ち時間は25分です。
- 発表の進行は、座長の指示に従ってください。
- 発表時の画面送りにつきましては、発表者ご自身でお願いします。

◆ 一般口演の発表の方へ

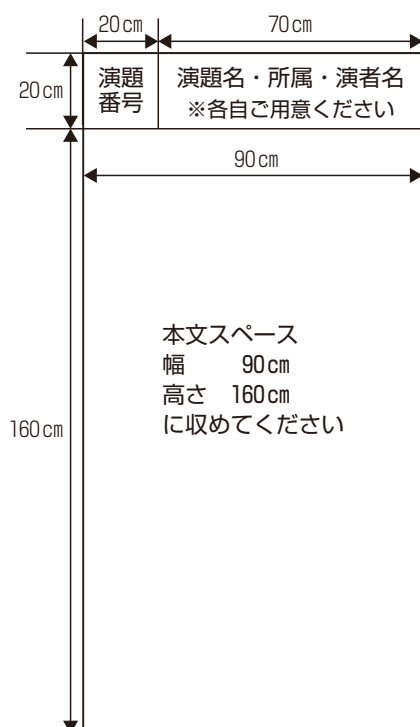
- 一演題あたりの持ち時間は15分(発表10分、質疑応答5分)です。
- 発表、討議の進行は、座長の指示に従ってください。
- 発表時の画面送りにつきましては、発表者ご自身でお願いします。

◆企画シンポジウムの発表の方へ

- ・持ち時間は20分です。
- ・発表、討議の進行は、座長の指示に従ってください。
- ・発表時の画面送りにつきましては、発表者ご自身でお願いします。

◆ポスター発表の方へ

- ・ポスター会場の指定されたボードにご提示ください。
- ・ポスター本文は、横幅90cm×高さ160cmの枠内に収まるようにご用意ください。
- ・パネルの左上角に演題番号(20cm×20cm)を主催者側で準備いたします。
- ・指定された演題番号のパネルに貼付してください。



①ポスター貼付時間

10月25日(金) 10:00 まで

- ・ポスターは、指定時刻までに貼付をお願いします。
- ・学会開催中の2日間掲示していただき、決められた時間に撤去をお願いします。

②ポスターセッション

10月25日(金) 13:40～14:00

- ・ポスターセッションは20分間の責任在席制です。開始時刻までには、各自のポスター前に控えてください。
- ・ポスターセッションの間は、自由にご討議いただき、質疑に応じてください。

③ポスター撤去時間

10月26日(土) 12:15～14:00

- ・撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、事務局が撤去し処分することがありますので、ご承知おきください。

(8) 学会奨励賞について

- ・第24回日本神経精神医学会では、研究・発表を推奨し、今後の学会の発展に寄与する人材を育成していくことを目的に、学会奨励賞を設けております。
- ・一般口演・企画シンポジウム・ポスター発表の中から2題程度を選出いたします。
- ・選出は理事と各担当座長の先生方による投票で決定いたします。
- ・表彰は学会2日目の10月26日(土)の閉会式と併せて会場にて行います。

〈閉会式・表彰式〉 10月26日(土) 13:15～13:45

2. 座長の方へ

1) 一般口演の座長の方へ

- ご担当のセッションまでに会場受付にて座長受付をお済ませください。
- ご担当のセッション開始10分前までに、会場内の次座長席にて待機をお願いいたします。
- 発表時間・討議時間の厳守をお願いいたします。

2) ポスターセッションの座長の方へ

- ご担当のセッションまでに会場受付にて座長受付をお済ませください。
- ご担当のセッション開始までに、ポスター会場内にて待機をお願いいたします。
- 発表は20分間の責任在席制となっております。時間を区切った個別の発表は行いません。また、討論の進まない演題につきましては、質問等の討論を促す働きかけをお願いいたします。

◆学会奨励賞の投票についてのお願い

- 一般口演、企画シンポジウム及び、ポスターセッションの座長の先生におかれましては、学会奨励賞の投票をお願いいたします。
- 座長受付時に投票用紙をお渡しします。
- 一般口演・企画シンポジウム・ポスター発表より、ご自身の担当されたセッションに関わることなく優れた演題につきチェックをしていただき、総合受付に投票用紙をご提出ください。

〈投票締切日時〉 10月26日(土) 12:25まで

3) シンポジウムの座長の方へ

- ご担当のセッションまでに会場受付にて座長受付をお済ませください。
- ご担当のセッション開始10分前までに、会場内の次座長席にて待機をお願いいたします。
- プログラムおよび受付にて事前にご確認のうえ、発表時間・討議時間の厳守をお願いいたします。

1日目 10月25日金

山形テルサ 3F アプローズ

ポスター会場

8:30	8:30～ 受 付 開 始	8:30 ～ 10:00 ポ ス タ ー 貼 付
9:00	8:55～ 開 会 挨 拶	
	9:00～10:00 一般演題1 O1-1～O1-4 器質性精神障害・脳炎 座長：下村 辰雄	
10:00	10:05～11:05 一般演題2 O2-1～O2-4 妄 想 座長：平山 和美	
11:00	11:10～12:10 シンポジウム1 前頭葉障害と神経精神医学 座長：森 悦朗 演者：船山 道隆、渡辺 宏久	
12:00	12:15～12:35 評議委員会・総会	
13:00	12:45～13:35 ランチョンセミナー1 脳病理から考える DLB の症候、病態、治療 座長：古和 久朋 演者：新井 哲明 共催：大日本住友製薬株式会社	
14:00	座長：伊関 千書	13:40～14:00 ポスターセッション
	14:10～15:25 一般演題3 O3-1～O3-5 FTLD 関連 座長：橋本 衛	
15:00	15:35～16:35 シンポジウム2 タウオパチーの臨床と神経病理 座長：新井 哲明 演者：石原 健司、横田 修	
16:00	16:40～17:40 特 別 講 演 レビー小体型認知症、大脳皮質基底核変性症、 進行性核上性麻痺の臨床神経病理 座長：川勝 忍 演者：内原 俊記	
17:00	17:50～18:30 イブニングセミナー 認知症鑑別診断における DaT-SPECT の活用法 座長：森 悦朗 演者：小林 良太 共催：日本メジフィックス株式会社	
18:00		

2日目 10月26日(土)

山形テルサ 3F アプローズ

ポスター会場

8:30	8:30～ 受 付 開 始	
9:00	8:40～9:30 モーニングセミナー 特発性正常圧水頭症の神経画像 座長：村井 俊哉 演者：数井 裕光 共催：富士フイルム富山化学株式会社	
10:00	9:30～10:15 一般演題4 O4-1～O4-3 DLB 関連 座長：谷向 知	
11:00	10:20～11:10 企画シンポジウム(一般演題からの採択) FTLD 診断における問題点 座長：今村 徹 演者：品川 俊一郎、小林 良太	
12:00	11:15～12:15 会 長 講 演 神経心理と神経病理クロストーク by 川勝×鈴木： 動画・画像・病理でみる神経精神医学の醍醐味 座長：松田 実 演者：川勝 忍、鈴木 匡子	
13:00	12:25～13:25 ランチョンセミナー2 アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ 座長：三村 將 演者：小野 賢二郎 共催：エーザイ株式会社	12:15 ～ 14:00 ポ ス タ ー 撤 去
14:00	13:25～13:55 表彰式・閉会挨拶	
15:00		

プログラム

1日目 10月25日(金) 山形テルサ 3F アブローズ

8:30～ 開場・受付開始 ポスター貼付(8:30～10:00)

8:55～ 開会挨拶 会長：川勝 忍(福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座)

9:00～10:00 一般演題1

[器質性精神障害・脳炎] 座長：下村 辰雄(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター 精神医学講座)

O1-1 不安障害ののち若年性認知症を呈した Wolfram 症候群の1例 30

○川原 光瑠、伊関 千書、高橋 なおみ、石井 康大、近藤 敏行、鈴木 佑弥、
猪狩 龍佑、佐藤 裕康、小山 信吾、石澤 賢一

山形大学 医学部 内科学第三講座

O1-2 比較的軽症の脳症を経験した数年後に再発した 重症抗 NMDA 受容体抗体脳炎の若年女性の2症例 31

○岡部 裕真¹⁾²⁾、伊関 千書¹⁾、小山 信吾¹⁾、佐藤 裕康¹⁾、猪狩 龍佑¹⁾、
鈴木 佑弥¹⁾、阿部 美緒²⁾、鈴木 昭仁²⁾、大谷 浩一²⁾、石澤 賢一¹⁾

1)山形大学医学部付属病院 内科学第三講座、2)山形大学医学部付属病院 精神医学講座

O1-3 インフルエンザを契機に緊張病症状を主体とした 精神病症状を呈した辺縁系脳炎の1例 32

○須藤 真紀¹⁾、白木 乃江瑠¹⁾、根本 清貴²⁾、新井 哲明²⁾

1)筑波大学附属病院 精神神経科、2)筑波大学 医学医療系 精神医学

O1-4 TS-1の休薬期間を守らず内服継続したことにより深部白質脳症を来した1例 33

○藤田 祐大¹⁾、銚石 和彦¹⁾、小泉 冬木¹⁾、西田 浩介²⁾、中村 榮秀²⁾

1)自衛隊阪神病院 精神科、2)自衛隊阪神病院 外科

10:05～11:05 一般演題2

[妄想] 座長：平山 和美(山形県立保健医療大学 保健医療学部 作業療法学科)

O2-1 視床中脳梗塞後に幻視、幻聴、幻触が同時に起こった一例 34

○坂本 和貴¹⁾²⁾、小林 良太³⁾⁴⁾、森岡 大智³⁾、横井 香代子²⁾、大高 美貴¹⁾、
岡田 おゆき¹⁾、川勝 忍⁴⁾、大谷 浩一³⁾、篠田 淳男⁵⁾、平山 和美²⁾

1)篠田総合病院 リハビリセンター、2)山形県立保健医療大学大学院 作業療法学分野、

3)山形大学 医学部 精神医学講座、4)篠田総合病院 認知症疾患医療センター、5)篠田総合病院 脳神経外科

O2-2 アルツハイマー病患者における妄想的神経基盤について 35

○橋本 衛¹⁾、福原 竜治²⁾、津野田 尚子³⁾

1)大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座、

2)熊本大学附属病院 神経精神科、3)みつぐまち診療所

- O2-3** 発症早期より嫉妬妄想を認め、Meynert 核の Lewy 小体病理が目立った
認知症を伴う Parkinson 病の 1 剖検例 36
- 坂井 健二¹⁾、池田 篤平²⁾、石田 千穂²⁾、駒井 清暢²⁾、山田 正仁¹⁾
- 1) 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(脳神経内科学)、
2) 独立行政法人 国立病院機構 医王病院 北陸脳神経筋疾患センター 脳神経内科

- O2-4** 解放性仮説と認知神経科学モデルに基づく、
部分的感覚遮断によるシャルル・ボネ症候群の一例 37
- 西郷 佳世、國井 泰人、川勝 忍
- 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

11:10～12:10 **シンポジウム 1**

座長：森 悦朗(大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学寄附講座)

[前頭葉障害と神経精神医学]

- S1-1** 局所脳損傷と前頭側頭型認知症における前頭葉症状 24
- 船山 道隆
- 足利赤十字病院 神経精神科
- S1-2** パーキンソン病とその関連疾患における前頭葉障害 25
- 渡辺 宏久
- 藤田医科大学 医学部 脳神経内科学

12:15～12:35 **評議委員会・総会**

12:45～13:35 **ランチョンセミナー 1**

座長：古和 久朋(神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域)

LS-1 脳病理から考える DLB の症候、病態、治療

新井 哲明 筑波大学付属病院 精神神経科

共催：大日本住友製薬株式会社

- P-01** 長期罹患統合失調症にみられる認知症症状の背景病理の探索 46
 ○平野 光彬¹⁾、鳥居 洋太¹⁾、藤城 弘樹¹⁾、関口 裕孝²⁾、羽瀨 知可子³⁾、
 三輪 綾子⁴⁾、合澤 祐³⁾、吉田 眞理⁵⁾、入谷 修司¹⁾、尾崎 紀夫¹⁾
 1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野、2) 桶狭間病院 藤田こころケアセンター、
 3) 愛知県精神医療センター、4) もりやま総合心療病院、5) 愛知医科大学 加齢医科学研究所
- P-02** 精神症状の出現年齢と神経変性疾患の関係について
 —精神科病院の連続剖検例の検討— 47
 ○関口 裕孝¹⁾、藤城 弘樹²⁾³⁾、鳥居 洋太²⁾³⁾、羽瀨 知可子⁴⁾、平野 光彬²⁾⁵⁾、
 三輪 綾子³⁾、合澤 祐⁴⁾、岩田 拓⁴⁾、吉田 眞理⁵⁾、入谷 修司¹⁾²⁾³⁾
 1) 桶狭間病院 藤田こころケアセンター、2) 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学、
 3) もりやま総合心療病院、4) 愛知県精神医療センター、5) 愛知医科大学 加齢医科学研究所
- P-03** Methylenetetrahydrofolate reductase の遺伝多型と
 統合失調症の発症リスクについて 48
 ○太田 深秀¹⁾²⁾、吉田 冬子¹⁾、服部 功太郎¹⁾、功刀 浩¹⁾
 1) 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第三部、2) 筑波大学附属病院 精神神経科
- P-04** 筋萎縮性側索硬化症の脊髄前角細胞における RNA 結合蛋白質 Ataxin-2 の局在 49
 ○渡辺 亮平¹⁾²⁾、東 晋二¹⁾、河上 緒²⁾、大島 健一²⁾、新里 和弘²⁾、新井 哲明¹⁾
 1) 筑波大学 医学医療系 臨床医学域 精神医学、2) 東京都立松沢病院 精神科
- P-05** 経口摂取が低下したアルツハイマー型認知症に対して
 リバスタチンが有用と思われた1症例 50
 ○長濱 道治¹⁾、河野 公範¹⁾、三浦 章子¹⁾、山下 智子¹⁾、大舘 孝治¹⁾、
 林田 麻衣子¹⁾、橋岡 禎征¹⁾、和氣 玲¹⁾、稲垣 正俊¹⁾、堀口 淳²⁾
 1) 島根大学 医学部 精神医学講座、2) 島根大学 医学部 免疫精神神経学 共同研究講座
- P-06** Apathy is not depression
 —クラスタリングによるうつとアパシーの鑑別および活動量との関連— 51
 ○生方 志浦¹⁾、上田 敬太²⁾、藤本 岳²⁾、植野 仙教²⁾、村井 俊哉²⁾、大石 直也¹⁾
 1) 京都大学大学院 医学研究科 メディカルイノベーションセンター、
 2) 京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座
- P-07** 意味性認知症の社会性および行動障害の背景にある認知機能障害に関する検討
 —自閉症研究の神経心理課題を用いて 52
 ○佐久田 静¹⁾、橋本 衛²⁾、福原 竜治³⁾、石川 智久³⁾、宮川 雄介³⁾、
 小山 明日香⁴⁾、高崎 昭博³⁾、堀田 牧⁵⁾、池田 学⁵⁾、竹林 実⁴⁾
 1) 熊本大学大学院 医学教育部 神経精神医学分野、
 2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座、3) 熊本大学病院 神経精神科、
 4) 熊本大学大学院 生命科学研究部 神経精神医学分野、5) 大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室

P-08	DLB 患者の運動障害に対するゾニサミドの有効性及び安全性の検討 (第三相試験)	53
○遠矢 俊司 ¹⁾ 、小田原 俊成 ²⁾ 、長谷川 一子 ³⁾ 、梶原 律子 ¹⁾ 、竹内 久朗 ¹⁾ 、 田川 正秋 ¹⁾ 、小西 修 ¹⁾ 、村田 美穂 ⁴⁾ 、小阪 憲司 ⁵⁾		
1) 大日本住友製薬株式会社、2) 横浜市立大学 保健管理センター、3) 国立病院機構 相模原病院 神経内科、 4) (前所属) 国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科、5) 湘南いなほクリニック		
P-09	DLB 患者に対するゾニサミド (25 mg/ 日) 長期投与時の有効性 ～ P3 試験 Post-hoc 解析 (その1) ～	54
○小西 修 ¹⁾ 、小田原 俊成 ²⁾ 、長谷川 一子 ³⁾ 、河内 健治 ¹⁾ 、田川 正秋 ¹⁾ 、 丸山 秀徳 ¹⁾ 、村田 美穂 ⁴⁾ 、小阪 憲司 ⁵⁾		
1) 大日本住友製薬株式会社、2) 横浜市立大学 保健管理センター、3) 国立病院機構 相模原病院 神経内科、 4) (前所属) 国立精神・神経医療研究センター 神経内科、5) 湘南いなほクリニック		
P-10	DLB 患者に対するゾニサミド (25 mg/ 日) 長期投与時の安全性 ～ P3 試験 Post-hoc 解析 (その2) ～	55
○小西 修 ¹⁾ 、小田原 俊成 ²⁾ 、長谷川 一子 ³⁾ 、河内 健治 ¹⁾ 、田川 正秋 ¹⁾ 、 丸山 秀徳 ¹⁾ 、村田 美穂 ⁴⁾ 、小阪 憲司 ⁵⁾		
1) 大日本住友製薬株式会社、2) 横浜市立大学 保健管理センター、3) 国立病院機構 相模原病院 神経内科、 4) (前所属) 国立精神・神経医療研究センター 神経内科、5) 湘南いなほクリニック		

14:10～15:25 一般演題3

[FTLD 関連] 座長：橋本 衛 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学寄附講座)

O3-1	行動障害型前頭側頭型認知症が疑われたが画像所見が一致しない一症例	38
○松岡 照之 ¹⁾ 、笠井 高士 ²⁾ 、横井 崇人 ¹⁾ 、岡本 遥 ¹⁾ 、赤澤 健太郎 ³⁾ 、 近藤 正樹 ²⁾ 、山田 恵 ³⁾ 、水野 敏樹 ²⁾ 、成本 迅 ¹⁾		
1) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学、2) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学、 3) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 放射線診断治療学		
O3-2	注意障害、遂行機能障害から発症し前頭葉機能低下が顕著であった 進行性核上性麻痺 (PSP) の1例	39
○伊関 千書、近藤 敏行、佐藤 裕康、小山 信吾、石澤 賢一 山形大学 医学部 内科学第三講座		
O3-3	発語失行を伴わない進行性非流暢性失語症に行動異常が生じた2例	40
○柿沼 一雄 ¹⁾ 、成田 渉 ¹⁾ 、齋藤 裕美子 ¹⁾ 、森田 亜由美 ²⁾ 、小林 絵礼奈 ¹⁾ 、 川上 暢子 ¹⁾ 、菅野 重範 ¹⁾ 、西尾 慶之 ³⁾ 、鈴木 匡子 ¹⁾		
1) 東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野、2) 東北大学病院 リハビリテーション部、 3) 東京都立松沢病院 精神科		
O3-4	認知症を合併した筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の3例： 神経心理学的特徴と臨床経過への影響	41
○鈴木 佑弥 ¹⁾ 、伊関 千書 ¹⁾ 、小山 信吾 ¹⁾ 、佐藤 裕康 ¹⁾ 、猪狩 龍佑 ¹⁾ 、 岡部 裕真 ¹⁾ 、小林 良太 ²⁾ 、石澤 賢一 ¹⁾		
1) 山形大学 医学部 内科学第三講座、2) 山形大学 医学部 精神医学講座		

O3-5 失構音および口部顔面失行を呈した Posterior Cortical Atrophy の一例 42

○田村 昌士¹⁾、中野 明子²⁾、越部 裕子²⁾、太田 深秀³⁾、新井 哲明³⁾

1) 筑波大学附属病院 精神神経科、2) 筑波大学附属病院 認知症疾患医療センター、
3) 筑波大学 医学医療系 臨床医学域 精神医学

15:35～16:35 シンポジウム2

座長：新井 哲明（筑波大学附属病院 精神神経科）

[タウオパチーの臨床と神経病理]

S2-1 嗜銀顆粒病 (AGD)、Pick 病 (PiD)、 大脳皮質基底核変性症 (CBD) の神経心理と神経病理 26

○石原 健司

旭神経内科リハビリテーション病院 神経内科

S2-2 嗜銀顆粒病、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺と精神疾患 27

○横田 修¹⁾²⁾、三木 知子¹⁾²⁾、石津 秀樹³⁾、黒田 重利³⁾、寺田 整司²⁾、
山田 了士²⁾

1) きのかエスポアル病院 精神科、2) 岡山大学大学院 精神神経病態学、3) 慈圭病院 精神科

16:40～17:40 特別講演

川勝 忍（福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座）

レビー小体型認知症、大脳皮質基底核変性症、 進行性核上性麻痺の臨床神経病理 22

内原 俊記 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科、東京医科歯科大学 脳神経病態学（神経内科）

17:50～18:30 イブニングセミナー

座長：森 悦朗（大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座）

ES 認知症鑑別診断における DaT-SPECT の活用法

小林 良太 山形大学 医学部 精神医学講座

共催：日本メジフィジックス株式会社

8:30～

開場・受付開始

8:40～9:30

モーニングセミナー

座長：村井 俊哉(京都大学 医学部 精神医学講座)

MS 特発性正常圧水頭症の神経画像

数井 裕光 高知大学 医学部 神経精神科学教室

共催：富士フィルム富山化学株式会社

9:30～10:15

一般演題4

[DLB 関連]

座長：谷向 知(愛媛大学大学院 医学系研究科 地域健康システム看護学)

O4-1 右脳静脈洞塞栓後の顔中心部の相貌変形視例 43

○二村 明德¹⁾、小山 慎一²⁾、大橋 英朗¹⁾、三木 綾子¹⁾、小口 達敬¹⁾³⁾、
小野 賢二郎¹⁾

1) 昭和大学 医学部 内科学講座 脳神経内科学部門、2) 筑波大学 芸術系プロダクトデザイン領域、
3) 昭和大学 薬理学講座 医科薬理学部門

O4-2 レビー小体型認知症の色認知障害 ～健常者、Alzheimer 病との比較～ 44

○井上 香¹⁾、玉井 顕²⁾、下村 辰雄³⁾、平山 和美¹⁾

1) 山形県立保健医療大学 保健医療学部 作業療法学科、2) 敦賀温泉病院、
3) 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

O4-3 レビー小体型認知症患者のパレイドリア出現時の瞳孔変動の特徴 45

○鈴木 由美¹⁾、境 信哉²⁾、西尾 慶之³⁾、森 悦郎⁴⁾、平山 和美¹⁾

1) 山形県立保健医療大学 保健医療学部 作業療法学科、2) 北海道大学 保健科学研究所 生活機能学、
3) 東京都立松沢病院、4) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座

10:20～11:10

企画シンポジウム(一般演題からの採択)

座長：今村 徹(新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科)

[FTLD 診断における問題点]

PS-1 (行動型)前頭側頭型認知症の診断基準を満たす例の精神病症状を どのように考えるべきか 28

○品川 俊一郎、互 健二、繁田 雅弘

東京慈恵会医科大学 精神医学講座

PS-2 意味性認知症は運動ニューロン疾患に合併するのか 29

○小林 良太¹⁾、川勝 忍²⁾、林 博史¹⁾、森岡 大智¹⁾、大谷 浩一¹⁾

1) 山形大学 医学部 精神医学講座、2) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

11:15～12:15 **会長講演**

座長：松田 実(いずみの杜診療所)

神経心理と神経病理クロストーク by 川勝×鈴木：
動画・画像・病理でみる神経精神医学の醍醐味 23

川勝 忍 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

鈴木 匡子 東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野

12:25～13:25 **ランチョンセミナー2**

座長：三村 将(慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室)

LS-2 アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ

小野 賢二郎 昭和大学 医学部 内科学講座 脳神経内科学部門

共催：エーザイ株式会社

13:25～13:55 **表彰式・閉会式**

会長：川勝 忍(福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座)

Blank lined paper for writing.

抄 録

レビー小体型認知症、大脳皮質基底核変性症、 進行性核上性麻痺の臨床神経病理

内原 俊記

新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科
東京医科歯科大学 脳神経病態学（神経内科）

大脳皮質基底核変性症（CBD）に特徴的な運動障害は、基底核病変に対応する錐体外路症状と皮質病変に由来する失行様症状の組み合わせで起こるとされ、片側に強調される皮質病変の反対側に錐体外路症状も強調される。類似の運動障害は進行性核上性麻痺（PSP）でもみられるが、眼球運動障害、不随意運動、歩行障害なども両疾患で重なるので、症候の組み合わせから鑑別するのは困難な場合が多い。両疾患は共に4リピータウ沈着を基調とし、その病変分布も重なりあう「兄弟」の様な類縁関係にあるが、アストログリアの形態により両疾患を峻別できるとされる。類似の運動障害はアルツハイマー病（AD）やレビー小体型認知症（DLB）でもおこり corticobasal syndrome（CBS）とされるが、黒質や基底核病変が必ずしも明瞭でない点 CBD や PSP と異なり「他人の空似」といえる。症状との対応が一对一なら病巣を予測できても、複数の病変が関与する CBS ではそれぞれを加算的にとらえても病態を把握しがたい可能性がある。このように背景に黒質・基底核病変があるかどうかを CBS の質から区別するのは困難だが、脳血流や DAT scan 等は参考になる可能性がある。それ以外の臨床徴候（早期の記憶障害、自律神経障害、MIBG 異常、薬効、進行速度等）にも注目して病理背景を予見しようとする試み「CBS-plus」を提示する。AD のタウ病変は海馬傍回—海馬体—辺縁系—新皮質という秩序だった広がりを示すが、CBD や PSP のタウ病変の好発部位は踏襲されても、密度は多様で規則性に乏しい。また、DLB では豊富に分岐した軸索末端からシヌクレイン沈着と変性が起こるので、早期の症状を局在化しにくい。それぞれの疾患の臨床診断基準は有用だが、互いをどのように区別し、基準を逸脱する例をどうとらえるか、様々な視点を共有して枠組みを改良する余地は大きい。

神経心理と神経病理クロストーク by 川勝×鈴木： 動画・画像・病理でみる神経精神医学の醍醐味

川勝 忍

福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

鈴木 匡子

東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野

本講演では、これまで本学会で私が発表してきた症例を中心に臨床神経病理学的に診断が難しかった5症例をともに議論したい。

1. 意味性認知症をめぐる問題

1) アルツハイマー病による意味性認知症はあるのか？

Hodges らの意味性認知症の剖検シリーズで AD があることになっているが、いずれも、SD とするには疑問があることは著者自身が述べていている。症例1は62歳発症、75歳剖検。第8回本学会（愛媛）および第10回本学会（東京）で発表した際には、大脳皮質基底核変性症を疑ったが、その後、意味性認知症と logopenic 型の特徴を併せ持った症例と考えた。病理学的には典型的 AD であったが、病変分布としては左頭頂葉に加えて側頭葉の変性が強かった。

2) 意味性認知症にアミロイド病理を合併する例はあるのか？

第11回本学会（神戸）にて、側頭葉萎縮が目立たない特異な意味性認知症として報告した例で、その後経過とともに側頭葉萎縮が進行し、著明萎縮を呈した。病理学的には TDP Type C 病理に、アミロイド病理が合併していた例として、第20回本学会（金沢）で剖検所見を報告した。アミロイド病理は広汎だったが、タウ病理はごく軽度であった。意味性認知症のアミロイド PET 所見の解釈に重要な示唆を与える症例と思われた。

3) 高齢発症の意味性認知症の位置づけはどうすべきか？

Josephs らは、アルツハイマー型認知症に TDP 病理が合併すると、側頭葉萎縮や呼称障害が強いと報告しているが、高齢発症の意味性認知症にアルツハイマー型認知症病理を合併した場合との異動については不明である。われわれは、高齢発症の意味性認知症では、若年例で通常みられる TDP Type C ではなく、TDP Type A 病理例を複数経験している。高齢発症の意味性認知症は、アルツハイマー型認知症とより誤診されている可能性があり、病理学的にも AD と誤診されうるのではないかとくに最近提唱されている Limbic-predominant age-related TDP-43 encephalopathy (LATE) との関係がどうなのかも大きな問題である。

2. 進行性流暢性失語 (PNFA) とその鑑別について

60歳発症で、発語失行とその後構音障害を伴い、67歳で剖検となった TDP Type A 病理の進行性非流暢性失語例を第17回本学会（昭和大）で報告した。67歳発症で、喚語困難、メールの文章がおかしい（統語障害）で始まり、72歳で剖検となり CBD であった。進行性非流暢性失語では、失文法と発語失行が主症状であり、Josephs らの報告だと、発語失行のみの例では進行性核上性麻痺 (PSP) の病理が、両者があるものは大脳皮質基底核変性症 (CBD) の病理が多いとされている。

以上、進行性失語症や前頭側頭葉変性症の鑑別診断において、神経精神医学が重要であることを強調したい。

次回学術集会のご案内

- 名 称 **第25回日本神経精神医学会学術集会**
The 25th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association
- 会 長 **新井 哲明** (筑波大学附属病院 精神神経科)
- 会 期 **2020年10月16日(金)～17日(土)** (予定)
- 会 場 **筑波大学附属病院講堂**

第24回日本神経精神医学会学術集会
プログラム・抄録集

頒布価格：1,000 円

発 行 日：2019 年 9 月 19 日

会 長：川勝 忍

事 務 局：公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター
精神医学講座
〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
TEL：0242-75-2100 FAX：0242-75-2568

運営事務局：株式会社大風印刷 学会サポートサービス
〒990-2338 山形市蔵王松ヶ丘 1-2-6
TEL：023-689-1111 FAX：023-689-1114
E-mail：jna24@okaze.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺 4-39-11 ヤマウチビル 1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

第24回 日本神経精神医学会学術集会

● 事務局

公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター
精神医学講座

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21番地2
TEL: 0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

● 学会運営事務局

株式会社大風印刷 学会サポートサービス

〒990-2338 山形市蔵王松ヶ丘1-2-6
TEL: 023-689-1111 FAX: 023-689-1114
E-mail: jna24@okaze.jp